

## ■日本テレビ通り沿道まちづくり協議会等にて出された主要なご意見

### 将来像に関するご意見

意見概要	開催回
日本テレビ通り沿道は商業地域に指定されており、商業・業務用途の利便を増進すべき地域と考える	第5回
都市マスでは、「日本テレビ通り沿道等では既存の商店を活かし、中高層の建築物の低層部に生活利便のための店舗が並び、憩いや集いの広場も備えた個性と魅力あるまちづくりを進める」としている。商業・業務の利便を増進し、個性と魅力あるまちづくりを進めるため、日本テレビ通り沿道において「賑わい」が必要である	第5回
地域住民や企業等の地域交流とそれを促す環境づくりが必要であり、その交流と環境そのものが「賑わい」だと考える。またそのような賑わいを創出することにより新しい文化や繋がりが生まれ、番町地域が活性化するものである	第5回
Aゾーンが望む文化発信交流の方向性や賑わいの具体的なイメージというのはこの協議会でもっと議論されていいのではないかと	第5回
再開発を機に麴町駅を地域の拠点としてほしい	都市 MP オープンハウス
住居系と業務系が共存したまちづくりのために再開発を進めてほしい	都市 MP オープンハウス
住宅地やオフィスワーカーの生活を支える商業環境の形成が番町地域の賑わいと考える	第5回
住環境のドラスティックな変化は求めている	第7回
安全・安心して住みやすい環境があって、その上に地域の活性化があるべき	第7回
番町の良さは静かで良好な住宅地、都心でありながら子どもも多く住む貴重なエリア。特に賑わいは必要ない	第7回
現在の都市マスタープランはうまくいっていると思うので、変更しない方がよい	第7回
「地域住民の生活支援」を超える、過剰な賑わいは必要ない	第5回
日本テレビ通り沿いの開発計画は、その周辺の町の住環境、教育環境を大きく損ねるばかりでなく、まちの一体感を破壊しコミュニティの崩壊にもつながるものと懸念	第4回
日テレ通りに沿って大規模ビルを建築することは、業務商業ゾーンとそれ以外の地域に物理的にも壁を作る	第4回
都市マスの中層・中高層の住居系複合市街地として「落ち着いたたたずまいの住環境を大切にし、住宅と業務空間が調和・共存するまち」との整合しているのか	第5回
通りと後背の住宅地が融合したまちづくりを検討すべき	第2回
落ち着いた街並みと利便性のある商業エリアの両立、メリハリのある計画が必要	都市 MP オープンハウス
全体の新しいビジョンづくりの説明が具体的にされないといけない。この街をどうしたいのか、何をやりたいのか具体的に考えていくことが必要である	第4回
人口が減少する中で、量の緩和だけでなく質の向上が求められている。商業地域の発展だけでなく、住居地域も含めた総合的なまちづくりを考えて、番町のブランドを向上させてほしい	第4回

日テレ通り沿い・番町地域の課題・検討すべきことに関するご意見

<広場・公園・オープンスペース>

意見概要	開催回
40年の歴史がある盆踊りを行う際に、参加者を収容することができる広場やオープンスペースの確保が必要	第3回
番町・麴町地域にふさわしい広場は、赤坂サカスのような広場ではなく、住民や登下校する児童・生徒等に使用いただける安全な広場、エリアマネジメントといった形で管理をされた広場等、有効な広場を考えなければいけない	第6回
公園が不足している	第2回
番町・麴町地域は緑が少ない地域なので広場の設置を要求する	第6回
再開発に当っては、普段は区民が気楽にくつろげ、いざという時は防災拠点となる緑豊かで公共的な広場を設けて欲しい	都市 MP オープンハウス
賑わいと称して雑多な人々が行き交う広場がつくられていくことが本当に地域貢献になるのか	第4回
この地域に 150mのビルも年に1度の盆踊りのための広場も必要ない	第5回
テレビ局主体のイベント広場、商業店舗、および娯楽的色彩の強い店舗が設置されることによる賑わいとなり、地域コミュニティの核とはならない	第4回
営業娯楽的施設が住宅地のほうに侵食していくのではないか、住居地域が壊されていくのではないか	第5回
広場ができては駅直結で不特定多数が利用する広場は子供を安心して遊ばせることができないので不要	都市 MP オープンハウス

<マンション建て替え>

意見概要	開催回
周辺の住宅地についてはできれば現状を維持したいという気持ちがある一方で、今の地区計画でマンションを建替えた場合に住み続けられるかどうかといった問題が今後発生してくる	第3回

<バリアフリー>

意見概要	開催回
きちんとしたバリアフリー対策、歩道の拡幅とともに、できれば広い広場の設置が欲しい	第7回
麴町駅番町口にエレベーターやエスカレーターがないのが長年の問題	第2回
坂により麴町側出入口と分断されているにもかかわらず、バリアフリー化されていない番町側出入口	第2回
日本テレビは公益型の営利事業。バリアフリーなど、高さ制限の緩和を引き換えにすることがなくてもできるのではないか	第5回
麴町駅はホームも狭く危険で人の流れが悪い。ホームから作り直す等は視野に入っているか	第5回

<災害時対応>

意見概要	開催回
「耐震」と「高齢化社会」に適したまちづくりに眼を向けるのはどうか 建替えの促進と避難場所、備蓄品の確保	第4回
東日本大震災を機に、駅前に多くの人がおり居場所がなくなっていた。交差点をはさんで人だまりが収容しきれない	第2回

### <歩道空間の確保>

意見概要	開催回
日テレ通りの舗装が良くない状態	第3回
日テレ通りは歩道が狭く、できるだけ幅員を広げる必要がある	第2回
番町中央通りに昼間も人があふれている。番町文人通りに関しても学生さんが線を引いたところで歩いているから、拡幅やセットバックをしてもらうというようなことをやる必要があるだろうと考えた	第7回
今の地区計画では、2mしかセットバックしない。植栽程度で終わってしまい、歩きにくい公開空地が創出されてしまうこともある。オープンスペース、緑、公園について、まちづくりという観点からもう一度考えるべき	第7回
駐車場付置義務の制度を改善して、沿道の賑わいの連続性をつくる、歩道を広くするために壁面後退をする	第2回
通りの両側沿道でまちが成立するようになってほしい。六番町側でも空間が確保できるようなまちづくりが望ましい	第2回
歩道が狭く日中に買い物をするにも不便である。今後交通量が増えればより住みづらくなる	都市 MP オープンハウス

### <建物高さ>

意見概要	開催回
高さ制限を緩和してでも、きちんとしたバリアフリー対策・歩道の拡幅・広場の設置を実現していただきたい	第7回
マンションの建替えも視野に高さ制限等の緩和をしてほしい	都市 MP オープンハウス
150mのビルによる女子学院に対する視線・圧迫感が増すことを懸念する	第4回
現在の地区計画の高さ制限を守るべき	第4回
現況の道路幅員で超高層ビルが建設されている例があるのか	第4回

### <文教地区・住環境の維持>

意見概要	開催回
番町地域には休日など気軽に出て行く場所がない。行政がつくるコミュニティセンターのようなものではなく、コーヒー1杯買ってもよいので商業施設の中に地域の人が集まりやすい第3の場所のようなものがあるとよいのではないかと	第5回
教育環境に悪影響を及ぼし、第一種文教地区の事業制限が緩和され骨抜きとなるのではないかと	第4回
児童生徒の通学路はその中心部を通ることになり安全の観点からも心配	第4回
そこに1,000名が登下校するとなると、安心安全や風紀の乱れに対する懸念、文教地区としてどうなのか	第5回
超高層ビルがあると、ビル風、日影などさまざまな問題がいろいろな地域で実際に生じてきているといわれている	第4回
ビル風が益々強くなり、通学の子供たちの安全性が懸念	第4回
学校が多い地区なので不特定多数が利用する施設は建てないでほしい	都市 MP オープンハウス
再開発した施設に区民が利用できるホールや地域住民が日常的に利用できる商業施設を作ってもらってどうか	都市 MP オープンハウス

## 協議会の運営について

意見概要	開催回
パブリックコメントは具体的な検討及び計画がなされてから行うべき。構想レベルだと住民は意見を出しにくい	第 5 回
誰でも参加できるワークショップを丁寧に数多く開催することを希望する	第 6 回
町会長の意見は町会の総意とは言えない	第 5 回
積極的な情報提供、パブリックコメントなど住民意見の積極的取り込みが必要	第 4 回
一番町、三番町の方も議論に参加できるようにすべき	第 5 回
オープンな協議会の実施を要望	第 4 回
まちづくりに対する行政のビジョン、主体性が見えない	第 5 回

## 検討の進め方について

意見概要	開催回
協議会として検討すべきなのは、再開発に関する個別の問題ではなく、歩道を広くするための壁面後退や駐車場付置義務の課題改善など、建て替えて最低限考慮すべきことではないか。公開空地などの貢献に対して、大よそ許容できる建築物の高さを考えて置き、具体的には個別の計画で協議すべき	第 2 回
日本テレビの計画内容を知りたい	第 4 回
番町に不足しているもの・課題を整理すべき	第 6 回
現行地区計画のよかったところ、課題の整理をしてはどうか	第 2 回
コロナ禍の影響で社会の在り方が変わっていることを配慮して検討すべき	都市 MP オープンハウス
二番町だけでなく四番町の再開発計画とセットで検討すべき	都市 MP オープンハウス

## 地区計画の変更について

意見概要	開催回
現行制度内で地域貢献やバリアフリーは実現ができるのではないかと	第 4 回
地区計画の変更については番町地区の景観だけでなく東京の中心としてどうあるべきかも含めて検討してほしい	都市 MP オープンハウス
現在の地区計画の高さ制限に妥当性はあるのか検討すべき	第 2 回
純粹に、現行の地区計画の中で何ができるかを最初に考えるべき。日本テレビの敷地以外にもあらゆる敷地で容積率が緩和され、開発が進められた時のことを想定し、住宅地域や教育環境に与える環境を鑑みて、地域づくりの議論をしていくべき	第 7 回
我々は 60m を本当に決めたのか。紛争解決やこの辺で良いだろうとただ決めただけ。日テレ通り沿道からもう一回見直してつくっていかうとまちづくりを考えてきた	第 7 回
地区計画変更によるデメリットを明らかにすべき	第 5 回
現行の地区計画が実情にそぐわないものであれば、例え 10 年しか経っていなくても、変更されてもいい	第 5 回